

## 松戸市立病院後期臨床研修プログラム（新生児科）

1. 研修対象者：初期研修終了者で新生児科の専門領域研修を希望するもの。  
日本周産期・新生児医学会の基幹研修施設であり、新生児専門医資格取得研修にも対応する。
2. 研修期間：原則1年以上、新生児専門医資格取得研修は小児科専門医取得後3年間、小児科後期研修の中での新生児科研修の場合は別途配慮する。
3. 研修カリキュラム  
病的新生児管理（呼吸、循環、神経、栄養、代謝など）  
新生児外科疾患管理、新生児心臓疾患管理  
超低出生体重児、極低出生体重児の管理  
多胎の管理  
慢性肺疾患の管理、気道疾患の管理  
異常分娩時の対応  
新生児救急搬送  
ブレネイタルビジット  
新生児室での正常新生児の管理  
正常新生児の1か月検診  
周産期カンファレンス  
新生児科退院児の外来フォローアップ  
家族の支援  
地域医療、福祉との連携  
産科等関係各科との連携など
4. 研修システムの特徴  
日本周産期・新生児医学会の基幹研修施設であり、新生児専門医資格取得研修にも対応すること。ドクターズカーによる新生児搬送の経験も得られる。  
総合病院の新生児科として、新生児外科疾患、新生児心臓疾患、脳神経外科疾患、形成外科疾患、腎疾患をはじめ、様々な新生児疾患が経験できる。
5. 指導スタッフの概要：  
新生児科部長 喜田善和（小児科学会専門医、小児神経学会専門医、日本周産期・新生児医学会暫定指導医、未熟児新生児学会評議員、小児科学会代議員）  
医長 長谷川久弥（小児科学会専門医、未熟児新生児学会評議員、小児呼吸器学会幹事）  
医長 坂井美穂（小児科学会専門医）、医長 吉田和司（小児科学会専門医）、  
医長 鶴田志緒（小児科学会認定医）
6. 研修終了後の進路：研修終了後、希望者は当科をはじめ全国の新生児科での活躍が期

待される。